

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会（第24期・第4回）議事録

1. 日時：令和元年7月31日（水）13：00～15：00
2. 場所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室
3. 出席者：岸本健雄（委員長）、寺北明久（副委員長）、小路武彦、斎藤成也、西弘嗣、西田宏記
欠席者：大隅典子、倉谷滋、武田洋幸、深津武馬
4. 議事：
 - (1) 報告
 - ・日本学術会議 PSA 分科会「畑井新喜司メダル授賞候補者選考委員会」（大越和加委員長）から依頼を受け（本年3月9日）、同委員会委員1名を推薦した。
 - ・「マスタープラン2020」に応募した（3月29日が締切）
タイトルは「国立沖縄自然史博物館の設立ー東・東南アジアの自然の解明とビッグデータ自然史科学の実現による人類の持続可能性への貢献ー」
 - ・動物科学分科会の活動状況等に関する年次報告（平成30年10月～令和元年9月）を提出した（7月19日締切）
 - (2) 提言「国立自然史博物館設立の必要性」（第23期に公表）のフォローアップ
 - ・第5回沖縄シンポジウム「国立自然史博物館の設立を目指して～沖縄の未来形成に果たす役割と責務～」を開催した（平成31年2月1日、那覇・沖縄銀行本店ホール；本分科会および自然史・古生物学分科会、一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会、沖縄県の共催）。
 - ・上記の「マスタープラン2020」への応募。
 - ・沖縄県環境部が平成30年度予算で「国立自然史博物館誘致基礎調査」を実施し、その報告書にもとづき、令和元年6月20日付けで沖縄県庁ホームページに「国立自然史博物館の誘致について」のページを開設するとともに、チラシ「国立自然史博物館」を発行した。
 - (3) 第24期の活動方針
 - ・前回分科会に引き続き動物科学の振興方策について意見交換をし、以下の方向でさらに検討することとなった。
 - ・シンポジウムを開催し（時期は来年度の前半）、動物科学の多様性と面白さをアピールする。
 - ・演題としては、生物科学学会連合に所属する動物学関連学会に呼びかけ、それぞれの学会として最も魅力的と考える学術講演を推薦してもらう。そうして、それらの演者が一堂に会したシンポジウムとする。